

弊の要素とは才優し相対立する二つの抗争力であるため、これ等相対立する要
業の発展はより露骨なる抗争手段を排せんと見らる。

(4) 国内政局不安の醸成と國際的政治危機

恐慌——經濟國家主義——經濟プロッタ——經濟自衛隊は、
要するに、独占資本主義による国内市場征服と巨大生産の海外進出の要求から
出発してゐる。更らに、市場激化の結果は軍備拡張工作の進行と恐慌克服策
としてのインフレーションの不可避的進行とを世界的規模において具体化して
ゐる。

如上一冊の合作傾向は、国内的には高物價時代を現出して、小市民層の貯蓄
を剝奪し、俸給生活者、労働者の実収入(生活収入)を低下し、益々生産と消費
との矛盾を拡大し再生産する。此の物價高騰と労働賃銀との比例的上昇下向の
差こそ社会ケンピンを振擡付ける一要素である。現段階に於ける世界的經濟
恐慌は当然財政不安となり、更らに労働不安、社会不安となつて政情不安にま
で發展する。

同秋の起つたキューバの内亂、本年二月相次いで勃発したフランス及

國の不動産暴落、連日新聞の自衛隊生産暴落、連日新聞の大暴落等には、
か、各政黨を驚かすものがある。更に各黨國策を阻害するものも國策的
發展の必要は露骨なる抗争手段を排せんと見らる。更に各黨國策を阻害するものも國策的
發展の必要は露骨なる抗争手段を排せんと見らる。

二 日本經濟の現狀

(1) 經濟的恐慌

世界恐慌の波及は、我が國に於ては、大恐慌を招きしつ、外も現段階にあつて、日
本經濟を最も相対的に激化させた状態を保持してゐる。最近日本商品の海外市
場への進出は、何等かの社会恐慌の進行、政府の積極的指導統制の下に
産業合理化の進行、及び労働者の団結、並に資本の雄立を國內規模に對し、
に率領する實力を發揮し、更に、国内市場の競争、低賃金の利益が所屬通商場
裡に日本商品の飛躍進出を促進するものがある。

更に國內的には巨大なる軍需の進行、並に、国防の進行を實現し、鉄鋼業
機械工業、造船業等の重工業の盛況を復し、石炭、鉄鋼、電力、運輸機関の
基幹産業乃至は建設産業ともの活況の恩恵をよめると共に、低賃金、インフ